



# *MDM* ソフトウェア デプロイ メント ガイド

*HP TechPulse* プロアクティブエンドポ  
イント管理

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## 目次

はじめに .....	4
デバイスの手動登録.....	4
Intelligent Hub を使用した Windows デバイスの登録.....	4
必要条件 .....	4
手順 1 - Intelligent Hub Windows アプリケーションのダウンロード .....	4
手順 2 - Intelligent Hub ソフトウェアのインストール.....	5
手順 3 - Intelligent Hub を使用した Windows デバイスの登録.....	7
Intelligent Hub を使用した Apple iOS デバイスの登録 .....	9
必要条件 .....	9
手順 1 - Intelligent Hub iOS ソフトウェアのダウンロード.....	9
手順 2 - Intelligent Hub を使用した iOS デバイスの登録 .....	9
手順 3 - Hub 構成の完了 .....	14
Intelligent Hub を使用した macOS デバイスの登録.....	15
必要条件 .....	15
手順 1 - Intelligent Hub macOS ソフトウェアのダウンロード.....	16
手順 2 - macOS デバイスの登録.....	16
Intelligent Hub を使用した Android デバイスの登録 .....	16
手順 1 - Intelligent Hub Android ソフトウェアのダウンロード.....	17
手順 2 - Intelligent Hub を使用した Android デバイスの登録 .....	17
デバイスの自動登録.....	22
グループポリシー、ユーザー インポートにより Windows デバイスを Workspace ONE に登録....	22
必要条件 - ユーザー シリアル番号 .CSV ファイル.....	22

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

手順 1 - Workspace ONE Intelligent Hub とデバイス登録スクリプトのダウンロード .....	23
手順 2 - Group Policy Object の作成 .....	23
<b>System Center Configuration Manager (SCCM)、ユーザー インポートにより Windows デバイスを Workspace ONE に登録 .....</b>	<b>25</b>
必要条件 - ユーザー シリアル番号 .CSV ファイル .....	25
手順 1 - Workspace ONE Intelligent Hub とデバイス登録スクリプトのダウンロード .....	25
手順 2 - Workspace ONE Intelligent Hub のデプロイ .....	25
<b>System Center Configuration Manager (SCCM) により Windows デバイスを Workspace ONE に登録 - ダイナミック構成 .....</b>	<b>28</b>
必要条件 .....	28
手順 1 - Workspace ONE Intelligent Hub とデバイス登録スクリプトのダウンロード .....	28
手順 2 - Workspace ONE Intelligent Hub のデプロイ .....	28
<b>Apple Business Manager (ABM) による Workspace ONE への macOS または iOS デバイスの登録 .....</b>	<b>31</b>
必要条件 .....	31
顧客に必要なもの: .....	31
HP の担当: .....	31
Step 1 - 顧客の登録 .....	31
手順 2 - 顧客 Apple Business Manager を HP に指名 .....	31
手順 3 - Apple Business Manager を使用した iOS または macOS デバイスの登録 .....	32

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## はじめに

HP TechPulse プロアクティブエンドポイント管理サブスクリプションには、Mobile Device Management (MDM) ツールへのデバイス登録が必要です。このガイドは、デバイスを MDM ツールに手動または自動で登録する方法を紹介します。

## デバイスの手動登録

このセクションは、HP TechPulse プロアクティブエンドポイント管理のためにデバイスを Workspace ONE に手動で登録するさまざまな方法を紹介합니다。



**注:** Workspace ONE に登録するためにデバイスはインターネットに接続しており、HP TechPulse プロアクティブエンドポイント管理サブスクリプションに必要なドメインに接続している必要があります。「HP TechPulse プロアクティブエンドポイント管理のプロキシまたはファイアウォールの構成」ドキュメントを参照してください。

## Intelligent Hub を使用した Windows デバイスの登録

このセクションは、Intelligent Hub ソフトウェアを使用して Windows 10 デバイスを Workspace ONE に手動で登録する方法を紹介します。

### 必要条件

- HP 担当者はグループ ID、ユーザー名、パスワードを提供する必要があります。
- デバイスはインターネットに接続している必要があります。
- Trusted Platform Module (TPM) を有効にする必要があります。
- Windows 10 Professional または Enterprise が必要です。

## 手順 1 - Intelligent Hub Windows アプリケーションのダウンロード

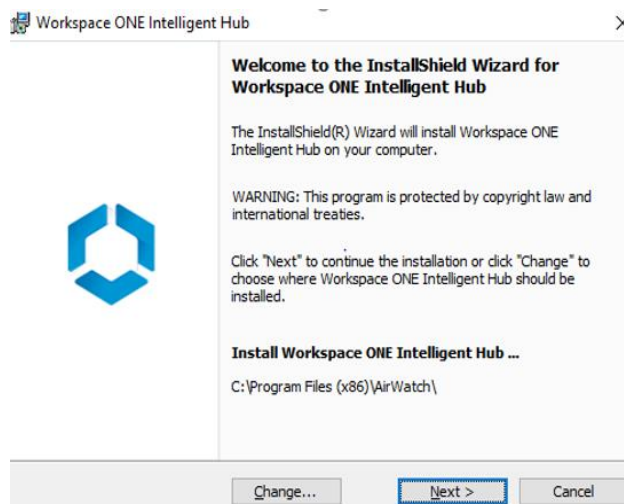
手動登録の場合、ソフトウェアをローカル コンピュータに保存します。

1. デバイスから <https://getwsone.com> に移動し、Workspace ONE Intelligent Hub インストーラーをダウンロードします。
2. 手動登録の場合、AirWatchAgent.msi ファイルをローカル コンピューターに保存します。

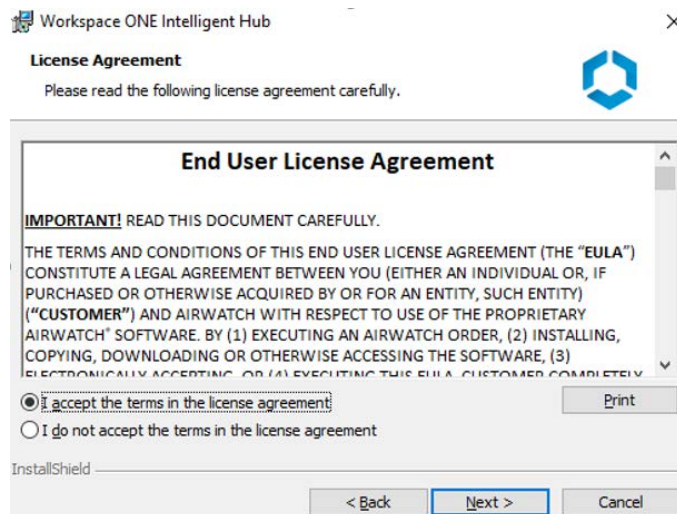
# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## 手順 2 - Intelligent Hub ソフトウェアのインストール

1. AirWatchAgent.msi インストール ファイルを開き、「Next (次へ)」 をクリックします。

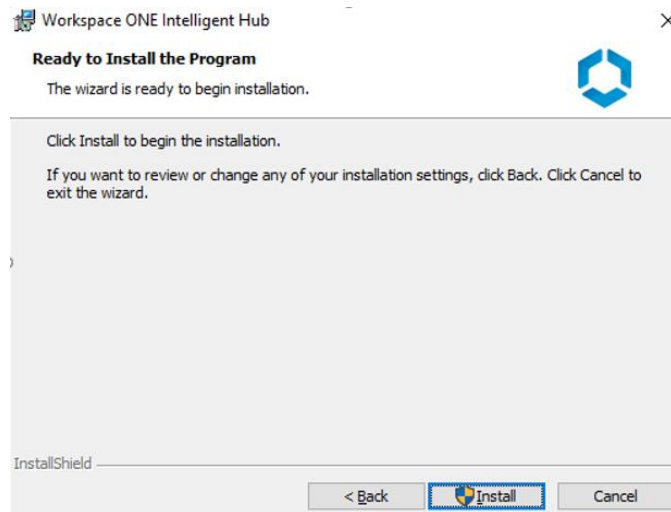


2. 「I accept the terms of the license agreement (使用許諾契約書の条件に同意する)」 を選択し、「Next (次へ)」 をクリックします。

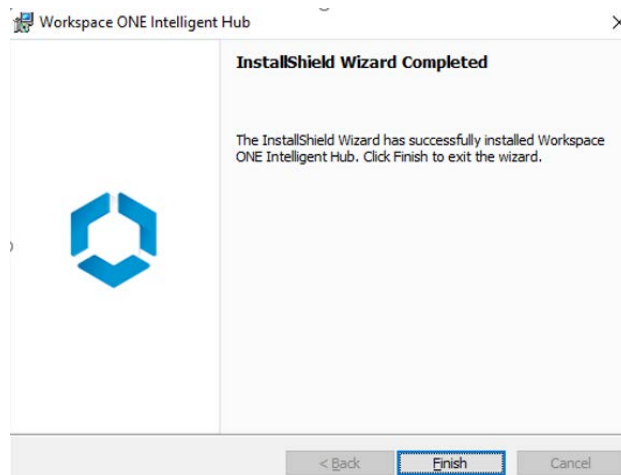


# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

3. 「Install (インストール)」 をクリックしてインストールを開始します。



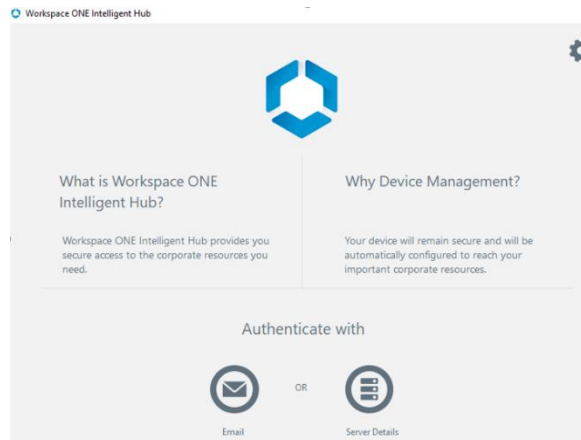
4. 「Finish (完了)」 をクリックしてインストールを完了します。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## 手順 3 - Intelligent Hub を使用した Windows デバイスの登録

1. WS1 Intelligent Hub ソフトウェアがインストールされると登録ウィンドウが開きます。  
「Server Details (サーバーの詳細)」 をクリックして登録を開始します。



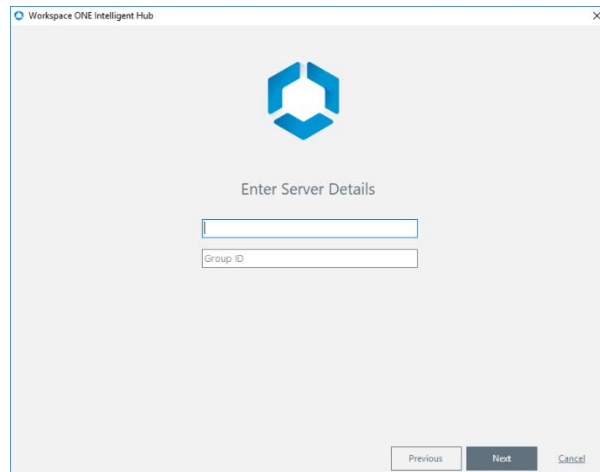
2. 以下の表の地域に基づいてサーバー名を入力します。また、HP 担当者より提供された「Group ID (グループ ID)」 を入力し、「Next (次へ)」 をクリックします。

地域	サーバー名
アメリカ、アジア、太平洋または日本 (APJ)、オーストラリア、ニュージーランド	awmdm.hpdaas.com
ヨーロッパ、中東またはアフリカ (EMEA)、ロシア、中国	euawmdm.hpdaas.com

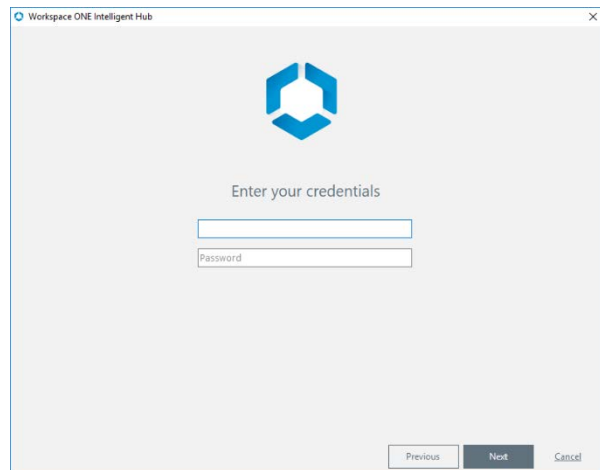


注: 「Group ID (グループ ID)」、ユーザー名、パスワードについては HP 担当者にお問い合わせください。

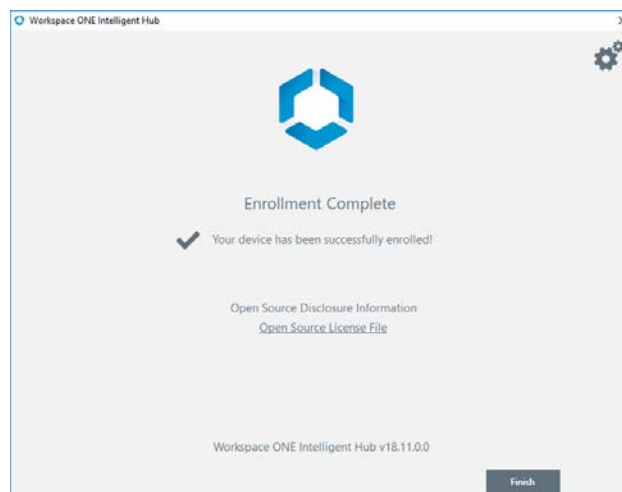
# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド



3. ユーザー アカウントまたはステージング アカウントの認証情報を入力し、「Next (次へ)」をクリックします。



4. デバイスが正常に登録されるとメッセージが表示されます。登録ウィンドウを閉じるには「Finish (終了)」を選択します。





# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## Intelligent Hub を使用した Apple iOS デバイスの登録

以下の手順は、HP TechPulse プロアクティブ管理のために iOS デバイスを手動で Workspace ONE に登録する方法です。

### 必要条件

- HP 担当者により作成されたステージング アカウント
- 顧客により提供されたローカル管理者ユーザー名およびパスワード
- .CSV ファイルには、顧客により提供された自身が持ち込むデバイス (BYOD) を含む、すべての iOS デバイスのユーザーと関連付けられたシリアルが含まれます。



**注:** デバイスを登録するには HP 担当者は .CSV ファイルをインポートする必要があります。

## 手順 1 - Intelligent Hub iOS ソフトウェアのダウンロード

1. App Store を開きます。
2. App Store から **Intelligent Hub** を検索し、ダウンロードします。
3. 通知が表示されたら、Apple ID とパスワードを入力し、Intelligent Hub アプリをダウンロードします。

## 手順 2 - Intelligent Hub を使用した iOS デバイスの登録

1. ダウンロードが完了したら、アプリを開く、またはホーム画面からアプリを開きます。
2. 以下の表の地域に基づいてサーバー名を入力します。

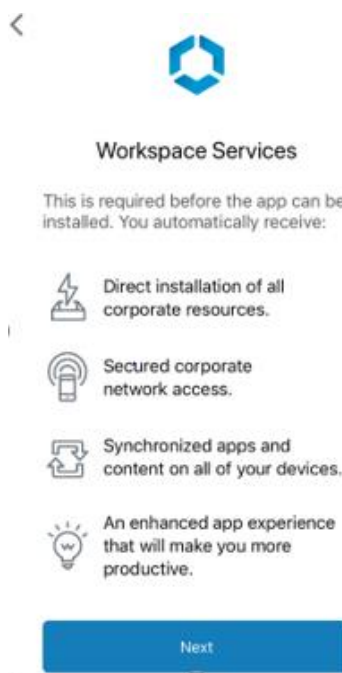
地域	サーバー名
アメリカ、アジア、太平洋または日本 (APJ)、オーストラリア、ニュージーランド	awmdm.hpdaas.com
ヨーロッパ、中東またはアフリカ (EMEA)、ロシア、中国	euawmdm.hpdaas.com

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

- HP 担当者より提供された会社に固有の「Group ID (グループ ID)」を入力し、「Next (次へ)」をクリックします。

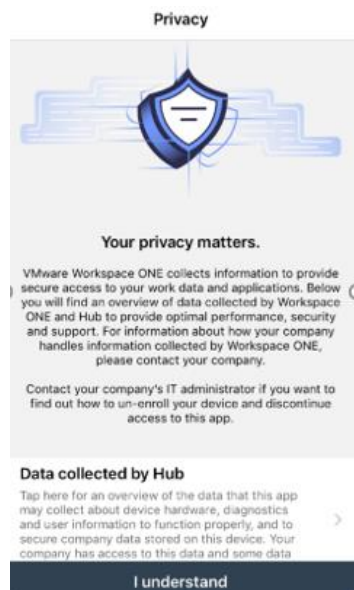


- Workspace Services のアクションのリストを表示するウィンドウが開きます。「Next (次へ)」を選択します。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

5. 「I understand (了承する)」を選択し、プライバシー ステートメントに同意します。

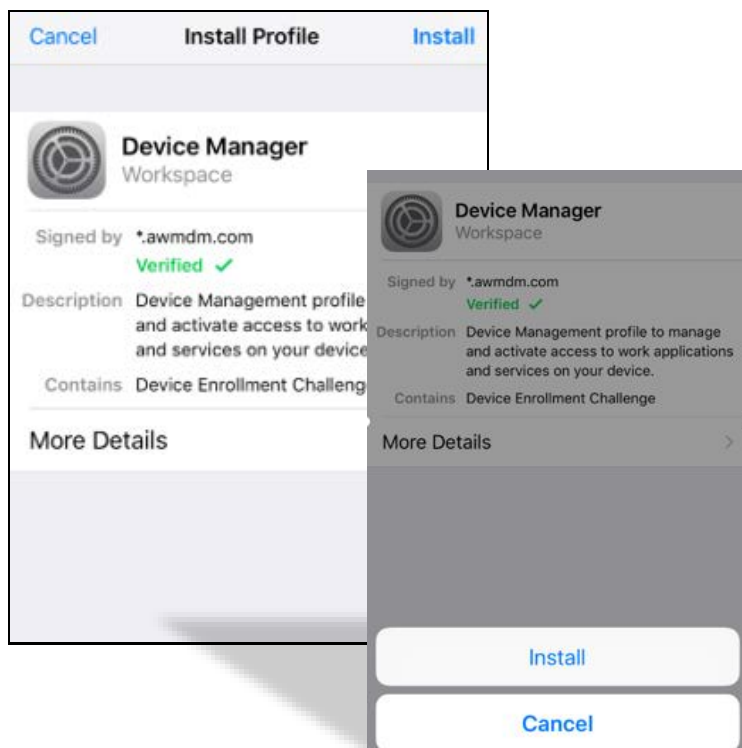


6. 右上で「Install (インストール)」を選択し、「Device Manager Profile (デバイスマネージャー プロファイル)」を構成します。次に下部で再度「Install (インストール)」を選択します。



注: エラーが表示されたらアプリを閉じます。アプリを再度開いて Web ブラウザで「Device Manager Profile (デバイスマネージャー プロファイル)」を完了します。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

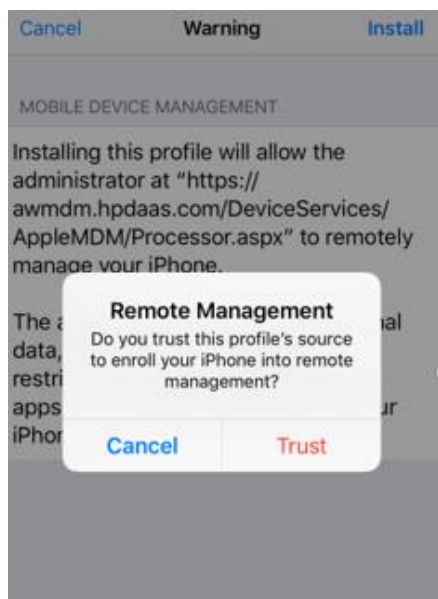


# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

- モバイルデバイス管理契約を確認し、右上で「Install (インストール)」を選択します。

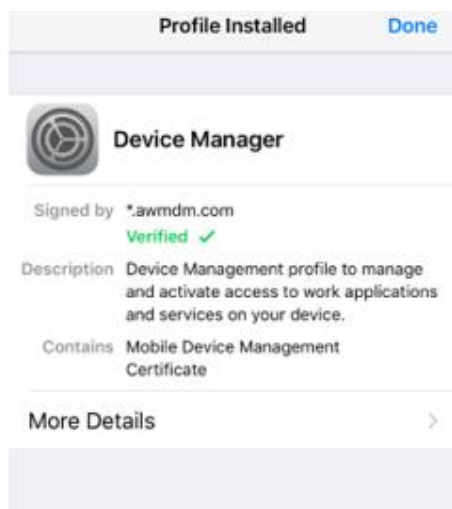


- 「Trust (信頼する)」を選択し、登録に同意します。



- プロファイルがインストールされます。インストールが完了したら右上で「Done (完了)」を選択します。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

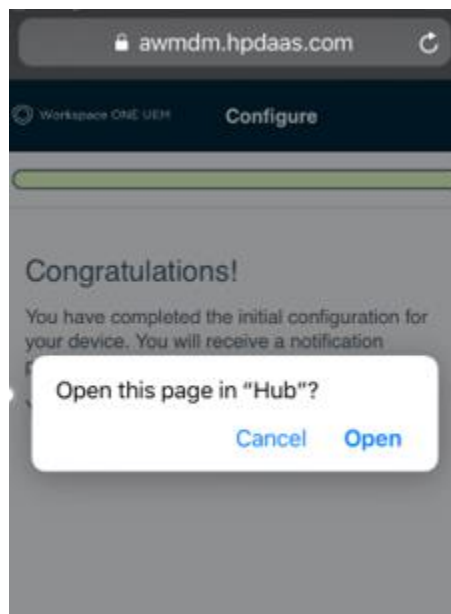


注: インストールが失敗した場合、アプリを終了し、Web ブラウザを使用して登録を実行してください。登録を完了するには [awmdm.hpdaas.com](https://awmdm.hpdaas.com) (または [euawmdm.hpdaas.com](https://euawmdm.hpdaas.com)) に移動します。

## 手順 3 - Hub 構成の完了

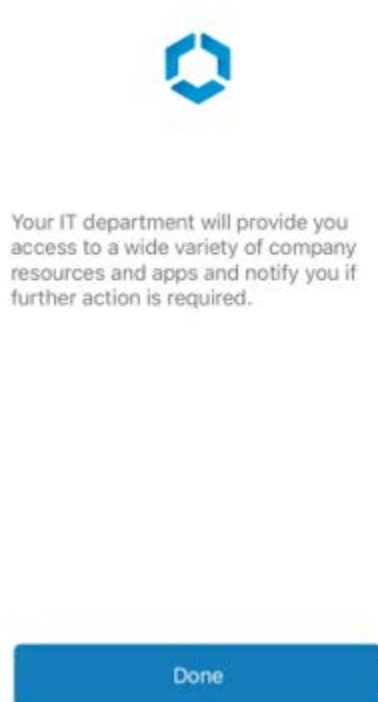
アプリがインストールされたら、構成が自動的に Web ブラウザで開きます。

1. 「Open (開く)」 をクリックし、構成を完了し、Hub を表示します。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

2. 「Done (完了)」 を選択します。



3. これで iOS デバイスは Workspace ONE に登録されます。アプリまたはプロファイルが iOS デバイ스에 デプロイされている場合、自動的にダウンロード、インストールされます。

## Intelligent Hub を使用した macOS デバイスの登録

以下の手順は、HP TechPulse プロアクティブ管理のために macOS デバイスを手動で Workspace ONE に登録する方法です。エンハンストまたはプレミアム サブスクリプションが必要です。

### 必要条件

- HP 担当者により作成されたステージング アカウント
- 顧客により提供されたユーザー名およびパスワード
- 顧客により提供された自身が持ち込むデバイス (BYOD) を含むすべての macOS デバイスのユーザー デバイス シリアル .CSV ファイル



**注:** デバイスを登録し、適切なユーザーに関連付けるために HP 担当者は .CSV ファイルをインポートする必要があります。この手順が完了していない場合、登録するまでお待ちください。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## 手順 1 - Intelligent Hub macOS ソフトウェアのダウンロード



注: macOS デバイスはインターネットに接続している必要があります。

1. macOS デバイスから <https://getwsone.com> に移動します。
2. Workspace ONE Intelligent Hub インストーラーをダウンロードし、mac のローカルフォルダに保存します。

## 手順 2 - macOS デバイスの登録

1. pkg ファイルを開き、指示に従って Intelligent Hub をインストールします。
2. インストールが完了したら、Intelligent Hub 登録画面が開きます。
3. 以下の表の地域に基づいてサーバー名を入力します。

地域	サーバー名
アメリカ、アジア、太平洋または日本 (APJ)、オーストラリア、ニュージーランド	awmdm.hpdaas.com
ヨーロッパ、中東またはアフリカ (EMEA)、ロシア、中国	euawmdm.hpdaas.com

4. HP 担当者より提供された「Group ID (グループ ID)」を入力し、
5. 「Next (次へ)」を選択します。
6. Workspace ONE Intelligent Hub で指示に従って進みます。
7. 管理者ユーザー名とパスワードを入力して MDM プロファイルをインストールします。
8. プロセスが完了したら、Workspace ONE Intelligent Hub は「Enrollment Complete (登録の完了)」画面を表示し、デバイスは直ちに管理者により割り当てられた構成の受信を開始します。
9. 「Continue (続行)」をクリックし、Hub のデフォルトの「Account (アカウント)」画面に移行します。
10. これにより macOS 登録が完了します。

## Intelligent Hub を使用した Android デバイスの登録

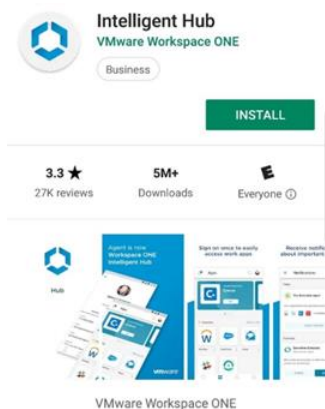
以下の手順は、HP TechPulse プロアクティブ管理のために Android デバイスを手動で Workspace ONE に登録する方法です。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## 手順 1 - Intelligent Hub Android ソフトウェアのダウンロード

1. Google Play Store を開きます。
2. Intelligent Hub. を検索します。
3. 「Install (インストール)」 を選択します。



## 手順 2 - Intelligent Hub を使用した Android デバイスの登録

Intelligent Hub ソフトウェアをダウンロードしたら、以下の手順を実行して Android デバイスにインストールします。

1. ウェルカム通知が表示されます。
2. 以下の表の地域に基づいてサーバー名を入力します。

地域	サーバー名
アメリカ、アジア、太平洋または日本 (APJ)、 オーストラリア、ニュージーランド	awmdm.hpdaas.com
ヨーロッパ、中東またはアフリカ (EMEA)、ロシア、 中国	euawmdm.hpdaas.com

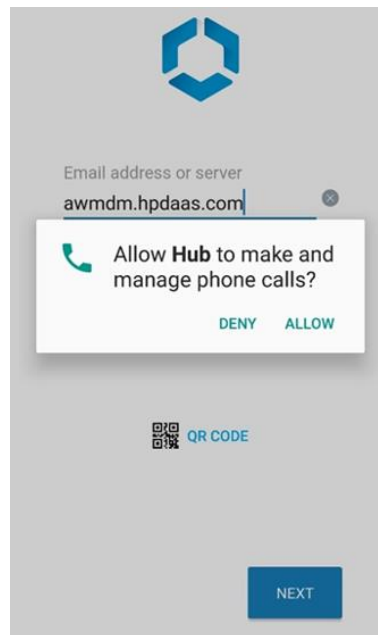
# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

- HP 担当者より提供された「Group ID (グループ ID)」を入力し、



The screenshot shows a mobile application interface with a blue hexagonal logo at the top. Below the logo, there are two input fields. The first field is labeled "Email address or server" and contains the text "https://awmdm.hpdaas.com". The second field is labeled "Group ID" and is currently empty.

- 「Next (次へ)」を選択します。
- ソフトウェアが発信や通話の管理を行うよう「Allow (許可)」を選択します。



- 「Next (次へ)」をクリックして続行します。
- 認証が開始されます。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

- ユーザー アカウントまたはステージング アカウントの認証情報を入力し、「Next (次へ)」をクリックします。

A screenshot of a mobile application's login screen. At the top left, there is a small 'x' icon. Below it are two input fields: 'Username' and 'Password'. A 'NEXT' button is positioned below the password field. A keyboard is overlaid on the bottom half of the screen, showing the alphanumeric keys and a 'Next' button in the bottom right corner.

- 下部で「I understand (了承する)」を選択し、プライバシー ステートメントに同意します。

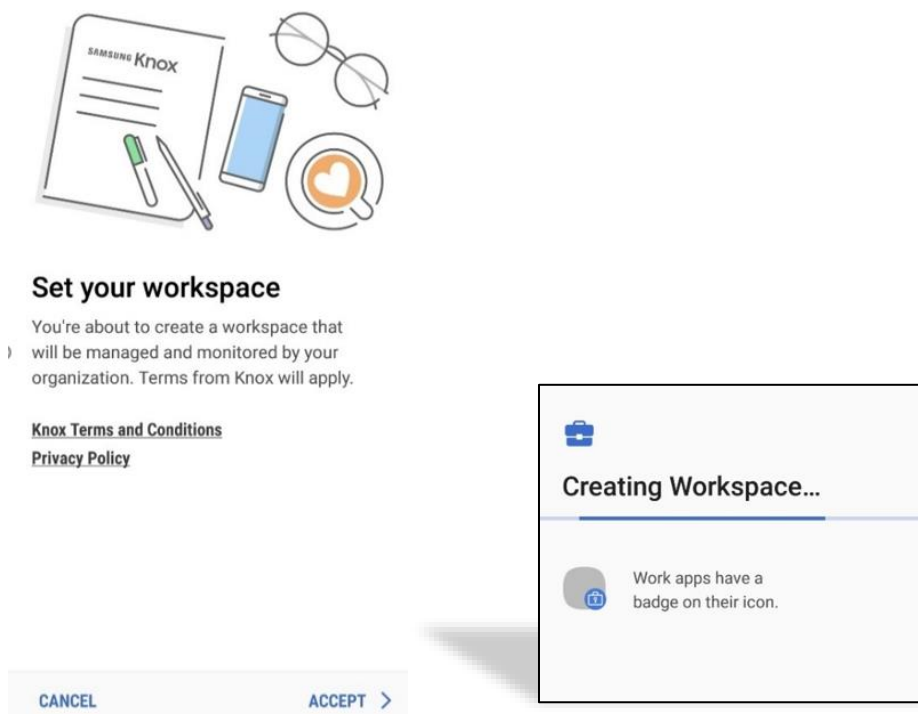
A screenshot of a mobile application's privacy policy screen. At the top left, there is a back arrow and the word 'Privacy'. Below this is a shield icon with a minus sign inside, surrounded by circuit-like lines. The text reads: **Your privacy matters.** VMware Workspace ONE collects information that is required to provide secure access to your work data and applications. Below you will find an overview of data collected by Workspace ONE and Hub to provide optimal performance, security and support. For information about how your company handles information collected by Workspace ONE, please contact your company. **Contact your company's IT administrator if you want to find out how to un-enroll your device and discontinue access to this app.** Below this is a section titled **Data Collected by Hub** with the text: Tap here for an overview of the data that this app may collect about device hardware, diagnostics and user information to function properly, and to secure company data stored on this device. Your company has access to this data and some data collected may be visible to your IT administrator. At the bottom, there is a dark blue button with the text 'I UNDERSTAND' in white.

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

10. 「Data Sharing Notice (データ共有通知)」を確認し、「I Agree (同意する)」を選択します。

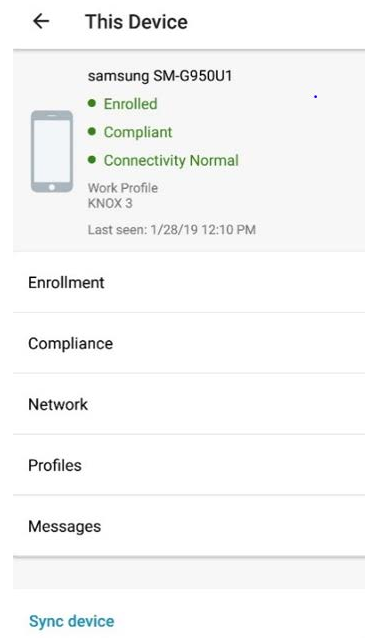


11. 一部の Android デバイスでワークスペースを設定する必要があります。「Accept (許可)」を選択し、ワークスペースが作成されるまで待ちます。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

12. ワークスペースが作成されたら、「tap to view new account information (タップして新規アカウント情報を表示)」が表示されます。登録を確認するには「This Device (このデバイス)」を選択します。登録が完了し、デバイスが条件に適合すると、すべての設定が緑色で表示されます。



13. 一部の Android デバイスではインストールしたアプリケーションを表示する「Enterprise Application Folder (エンタープライズ アプリケーション フォルダ)」が表示されます。Intelligent Hub ソフトウェアがインストールされ、デバイスが正常に登録されます。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## デバイスの自動登録

このセクションは、HP TechPulse プロアクティブ管理のために Windows、iOS、macOS デバイスを Workspace ONE に手動で登録するさまざまな方法を紹介します。



**注:** Workspace ONE に登録するためにデバイスはインターネットに接続しており、HP TechPulse プロアクティブ管理 エンハンスド & プレミアム サブスクリプションに必要なドメインに接続している必要があります。「HP TechPulse プロアクティブ管理のプロキシまたはファイアウォールの構成」ドキュメントを参照してください。

## グループポリシー、ユーザー インポートにより Windows デバイスを Workspace ONE に登録

このセクションは、グループポリシーを使用して Windows デバイスを Workspace ONE に登録する方法を紹介します。この方法は、登録前にユーザーがインポートする必要があります。この方法は、事前に必要なユーザー シリアル番号 .CSV ファイルが必要です。



**警告:** ユーザー シリアル CSV ファイルを HP 担当者に送信していない場合は続行しないでください。

## 必要条件 - ユーザー シリアル番号 .CSV ファイル

以下の手順に従って .CSV ファイルを作成し、HP に送信します。

1. ユーザー シリアル番号 CSV テンプレートを次の FTP 場所からダウンロードします:  
[ftp://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/HP\\_DaaS/WS1%20Client%20Scripts/Templates/](ftp://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/HP_DaaS/WS1%20Client%20Scripts/Templates/)
2. CSV テンプレートで「Username (ユーザー名)」、「First Name (名)」、「Last Name (姓)」、「Email Address (電子メール アドレス)」、「Device Serial Number (デバイス シリアル番号)」の列を入力します。Active Directory では「Username (ユーザー名)」は「User Account Name (ユーザー アカウント名)」になります。
3. .CSV ファイルを HP 担当者に送信します。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## 手順 1 - Workspace ONE Intelligent Hub とデバイス登録スクリプトのダウンロード

1. Windows 10 版 Intelligent Hub ソフトウェアを <https://www.getwsone.com> からダウンロードします。
2. 「Device Enrollment Powershell (デバイス登録パワーシェル)」 スクリプトが HP 担当者より提供されます。
3. Workspace ONE Intelligent Hub インストーラーと 「Device Enrollment Powershell (デバイス登録パワーシェル)」 スクリプトを Active Directory (AD) ドメイン コントローラーのローカルフォルダに保存します。

## 手順 2 - Group Policy Object の作成

1. Group Policy Object を作成して Workspace ONE Intelligent Hub をデプロイするには以下の手順を実行します。
2. Group Policy Management コンソールを開くには、Active Directory (AD) ドメイン コントローラーのコマンド プロンプトで 「gpmmc.msc」 と入力します。
3. デプロイする OU で 「Create a GPO in this domain (このドメインで GPO を作成)」 、 「Link it here… (こちらにリンク)」 を選択します。
4. Group Policy Object の名前を 「InstallWS1Client」 と設定します。
5. 「User Configuration (ユーザー構成)」 、 「Windows Settings (Windows 設定)」 、 「Scripts (Logon/Logoff) (スクリプト (ログオン/ログオフ))」 、 そして 「Logon (ログオン)」 を選択します。
6. 「Powershell Scripts (パワーシェル スクリプト)」 タブ、次に 「Show Files (ファイルの表示)」 を選択します。
7. ローカル保存したファイルをフォルダにコピーします。フォルダには以下のファイルが含まれます。
  - a. Workspace ONE Intelligent Hub software (AirWatchAgent.msi)
  - b. Device Enrollment Powershell スクリプト (AirWatchEnrollment.ps1)
8. 「Startup Properties (起動プロパティ)」 ダイアログ ボックスで 「Add (追加)」 を選択し、AirWatchEnrollment.ps1 ファイルを参照して選択します。
9. ダイアログ ボックスを終了し、設定を適用するには 「OK」 を選択します。
10. GPO は登録するクライアント コンピューターが対象となっていることを確認してください。次にリンクを有効にします。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

11. クライアント コンピューターは次回の更新時に「Group Policy Update (グループポリシーの更新)」を取得します。
12. 登録ユーザーがクライアント コンピューターにログオンすると、「InstallWS1Client」 Group Policy オブジェクトが適用されます。クライアント ソフトウェアがインストールされていない場合、Workspace ONE Intelligent Hub は自動的にコンピューターにインストールされ、クライアント コンピューターは自動的に Workspace ONE に登録されます。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## System Center Configuration Manager (SCCM)、ユーザー インポートにより Windows デバイスを Workspace ONE に登録

このセクションは、System Center Configuration Manager (SCCM) を使用して Windows® デバイスを Workspace ONE に登録する方法を紹介します。この方法は、事前に必要なユーザー シリアル番号 .CSV ファイルが必要です。



**警告:** ユーザー シリアル CSV ファイルを HP 担当者に送信していない場合は続行しないでください。

### 必要条件 - ユーザー シリアル番号 .CSV ファイル

以下の手順に従って .CSV ファイルを作成し、HP に送信します。

1. ユーザー シリアル番号 CSV テンプレートを次の FTP 場所からダウンロードします:  
[ftp://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/HP\\_DaaS/WS1%20Client%20Scripts/Templates/](ftp://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/HP_DaaS/WS1%20Client%20Scripts/Templates/)
2. CSV テンプレートで「Username (ユーザー名)」、「First Name (名)」、「Last Name (姓)」、「Email Address (電子メール アドレス)」、「Device Serial Number (デバイス シリアル番号)」の列を入力します。Active Directory では「Username (ユーザー名)」は「User Account Name (ユーザー アカウント名)」になります。
3. .CSV ファイルを HP 担当者に送信します。

### 手順 1 - Workspace ONE Intelligent Hub とデバイス登録スクリプトのダウンロード

1. Windows 10 版 Intelligent Hub ソフトウェアを <https://www.getwsone.com> からダウンロードします。
2. 「Device Enrollment Powershell (デバイス登録パワーシェル) スクリプト (AirWatchEnrollment.ps1) が HP 担当者より提供されます。
3. Workspace ONE Intelligent Hub インストーラーと「Device Enrollment Powershell (デバイス登録パワーシェル) スクリプトを SCCM にアクセス可能なコンテンツ場所に保存します。

### 手順 2 - Workspace ONE Intelligent Hub のデプロイ

1. SCCM Admin Console にログインします。「Create Application (アプリケーションの作成)」ウィザードを開始します。SCCM Admin Console で「Software Library (ソフトウェアライブラリ)」をクリックします。「Software Library (ソフトウェアライブラリ)」ワークスペースで「Application Management (アプリケーションの管理)」>「Applications (アプリケーション)」の順にクリックします。上部で「Create Application (アプリケーションの作成)」をクリックします。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

- 「Manually specify the application information (手動でアプリケーション情報の入力)」をクリックし、「Next (次へ)」を選択します。
- Workspace ONE Intelligent Hub に情報を指定し、「Next (次へ)」を選択します。
- 「Application Catalog (アプリケーションカタログ)」で表示する詳細を入力し、「Next (次へ)」を選択します。
- 「Add (追加)」をクリックして新しい「Deployment Type (デプロイメント タイプ)」を作成し、Script Installer を選択します。「Manually specify the deployment type information (手動でデプロイメントタイプ情報の入力)」が自動的に選択され、「Next (次へ)」をクリックします。
- デプロイメントの名前を指定し、「Next (次へ)」を選択します。
- 「Browse (参照)」を選択し、Workspace ONE Intelligent Hub の事前作成したコンテンツ場所に移動します。
- 「Installation program (インストール プログラム)」フィールドで以下のコマンドを貼り付け、「Next (次へ)」を選択します。
  - powershell -executionpolicy bypass -file AirWatchEnrollment.ps1
- 検出ルールを指定するには、「Use a custom script to detect the presence of this deployment type (カスタム スクリプトを使用してこのデプロイメント タイプの存在を検出)」を選択し、「Edit (編集)」を選択します。
- 「Script Type (スクリプトタイプ)」に PowerShell を選択します。以下のスクリプトをコピーして貼り付け、OK を選択します。
- 注: 以下のスクリプトで staginguser@noreply.com 電子メールアドレスを HP 担当者より提供されたステージング ユーザー電子メールと置き換えます。

#Compliance Script

#Checking first for Enrollment (登録の確認)

```
$PATH = "HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\Provisioning\OMADM\Accounts\*
```

```
$val = (Get-ItemProperty -Path $PATH -ErrorAction SilentlyContinue).PSChildname
```

#Now checking whether enrollment is with a real user or the staging user (登録が実際のユーザーまたはステージング ユーザーによるものか確認)

```
$path2 = "HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\Enrollments\$val"
```

```
$val2 = (Get-ItemProperty -Path $PATH2 -ErrorAction SilentlyContinue).UPN
```

```
if (!(($val2 -eq "staginguser@noreply.com" -or $val2 -eq $null))
```

```
{
```

```
Write-Host "Installed"
```

```
Exit 0
```

```
}
```

```
Else
```

```
{
```

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

Exit 0  
}

12. 検出ルールを入力したら、「Next (次へ)」を選択します。
13. これをユーザーのログオン時にのみ非表示インストールにするには、以下のユーザーエクスペリエンス設定を選択し、「Next (次へ)」を選択します。
  - a. Installation behavior (インストールのアクション): **Install for system (システムのインストール)**
  - b. Logon requirement (ログオン要件): **Only when a user is logged on (ユーザーのログオン時のみ)**
  - c. Installation program visibility (インストールプログラムの表示): **Hidden (非表示)**
14. 「Installation Requirements (インストール要件)」のデフォルトを許可するには「Next (次へ)」をクリックします。
15. ソフトウェア依存関係のデフォルトを許可するには「Next (次へ)」をクリックします。
16. デプロイメントの詳細を確認してから「Next (次へ)」を選択します。
17. 完了画面が表示されたら「Close (閉じる)」を選択します。
18. 「Create Application (アプリケーションの作成)」ウィザードで「Next (次へ)」を選択して続行します。
19. 設定を確認し、「Next (次へ)」を選択します。
20. 完了画面が表示されたら「Close (閉じる)」を選択します。
21. 新しいアプリケーションが「Applications (アプリケーション)」ノードでデプロイされます。右クリックし、「Properties (プロパティ)」を選択します。
22. 「Distribution Settings (配布設定)」タブを選択し、「Automatically download content when packages are assigned to distribution points (パッケージが配布ポイントに割り当てられている場合コンテンツを自動的にダウンロードする)」を選択します。
23. コンテンツを配布ポイントに配布します。
24. 希望のデバイスまたはユーザー コレクションをターゲットにした新しいデプロイメントを作成します。
25. 目的に応じて「Required (必須)」を選択してアプリケーションを必須にできます。
26. アプリケーションは Software Center で非表示にでき、インストール通知は、「Hide in Software Center and all notifications (Software Center で非表示およびすべての通知を非表示)」を選択して非表示にできます。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## System Center Configuration Manager (SCCM) により Windows デバイスを

### Workspace ONE に登録 - ダイナミック構成

このセクションは、System Center Configuration Manager (SCCM) を使用して Windows デバイスを WS1 に登録する方法を紹介します。

#### 必要条件

- エンドユーザーはデバイスにログオンし、Workspace ONE Intelligent Hub をインストールする管理特権がある必要があります。

#### 手順 1 - Workspace ONE Intelligent Hub とデバイス登録スクリプトのダウンロード

1. Windows 10 版 Intelligent Hub ソフトウェアを <https://www.getwsone.com> からダウンロードします。
2. 「Device Enrollment Powershell (デバイス登録パワーシェル) スクリプト (Register-Local-Devices.ps1) が HP 担当者より提供されます。
3. Workspace ONE Intelligent Hub と 「Device Enrollment Powershell (デバイス登録パワーシェル) スクリプトを SCCM にアクセス可能なコンテンツ場所に保存します。

#### 手順 2 - Workspace ONE Intelligent Hub のデプロイ

1. SCCM Admin Console にログインします。「Create Application (アプリケーションの作成)」ウィザードを開始します。SCCM Admin Console で 「Software Library (ソフトウェアライブラリ)」 をクリックします。「Software Library (ソフトウェアライブラリ)」 ワークスペースで 「Application Management (アプリケーションの管理)」 > 「Applications (アプリケーション)」 の順にクリックします。上部で 「Create Application (アプリケーションの作成)」 をクリックします。
2. 「Manually specify the application information (手動でアプリケーション情報の入力)」 をクリックし、「Next (次へ)」 を選択します。
3. Workspace ONE Intelligent Hub に情報を指定し、「Next (次へ)」 を選択します。
4. 「Application Catalog (アプリケーションカタログ)」 で表示する詳細を入力し、「Next (次へ)」 を選択します。
5. 新しいデプロイメントタイプを作成するには 「Add (追加)」 を選択します。
6. タイプ 「Script Installer」 を選択します。「Manually specify the deployment type information (手動でデプロイメント種類の情報の入力)」 が自動的に選択されます。
7. デプロイメントの名前を指定し、「Next (次へ)」 を選択します。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

8. 「Browse (参照)」を選択し、Workspace ONE Intelligent Hub の事前作成した ネットワーク 共有に移動します。
9. 「Installation program (インストール プログラム)」フィールドで以下のコマンドを貼り付け、「Next (次へ)」を選択します。
  - a. powershell -executionpolicy bypass -file Register-Local-Devices.ps1
10. 検出ルールを指定するには、「Use a custom script to detect the presence of this deployment type (カスタム スクリプトを使用してこのデプロイメント タイプの存在を検出)」を選択し、「Edit (編集)」を選択します。
11. 「Script Type (スクリプト タイプ)」に PowerShell を選択します。以下のスクリプトをコピーして貼り付け、OK を選択します。

## #Compliance Script

### #Checking first for Enrollment (登録の確認)

```
$PATH = "HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\Provisioning\OMADM\Accounts\*"
$val = (Get-ItemProperty -Path $PATH -ErrorAction SilentlyContinue).PSChildname
```

```
$val = (Get-ItemProperty -Path $PATH -ErrorAction SilentlyContinue).PSChildname
```

### #Now checking whether enrollment is with a real user or the staging user (登録が実際のユーザーまたはステージング ユーザーによるものか確認)

```
$path2 = "HKLM:\SOFTWARE\Microsoft\Enrollments\$val"
```

```
$val2 = (Get-ItemProperty -Path $PATH2 -ErrorAction SilentlyContinue).UPN
```

```
if (!(($val2 -eq "StagingWin10@Staging.com" -or $val2 -eq "staging@aw.com" -or $val2 -eq $null))
```

```
{
```

```
Write-Host "Installed"
```

```
Exit 0
```

```
}
```

```
Else
```

```
{
```

```
Exit 0
```

```
}
```

12. 検出ルールを入力したら、「Next (次へ)」を選択します。
13. これをユーザーのログオン時にのみ非表示インストールにするには、以下のユーザー エクスぺリエンス設定を選択し、「Next (次へ)」を選択します。
  - a. Installation behavior (インストールのアクション): **Install for user** (ユーザーのインストール)
  - b. Logon requirement (ログオン要件): **Only when a user is logged on** (ユーザーのログオン時のみ)
  - c. Installation program visibility (インストール プログラムの表示): **Hidden** (非表示)
14. 「Installation Requirements (インストール要件)」のデフォルトを許可するには「Next (次へ)」をクリックします。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

15. ソフトウェア依存関係のデフォルトを許可するには「Next (次へ)」をクリックします。
16. デプロイメントの詳細を確認してから「Next (次へ)」を選択します。
17. 完了画面が表示されたら「Close (閉じる)」を選択します。
18. 「Create Application (アプリケーションの作成)」ウィザードで「Next (次へ)」を選択して続行します。
19. 設定を確認し、「Next (次へ)」を選択します。
20. 完了画面が表示されたら「Close (閉じる)」を選択します。
21. 新しいアプリケーションが「Applications (アプリケーション)」ノードでデプロイされます。右クリックし、「Properties (プロパティ)」を選択します。
22. 「Distribution Settings (配布設定)」タブを選択し、「Automatically download content when packages are assigned to distribution points (パッケージが配布ポイントに割り当てられている場合コンテンツを自動的にダウンロードする)」を選択します。
23. コンテンツを配布ポイントに配布します。
24. 希望のデバイスまたはユーザー コレクションをターゲットにした新しいデプロイメントを作成します。
25. 目的に応じて「Required (必須)」を選択してアプリケーションを必須にできます。
26. アプリケーションは Software Center で非表示にでき、インストール通知は、「Hide in Software Center and all notifications (Software Center で非表示およびすべての通知を非表示)」を選択して非表示にできます。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

## Apple Business Manager (ABM) による Workspace ONE への macOS または iOS デバイスの登録

### 必要条件

顧客に必要なもの:

- 顧客登録済み Apple Business Manager (ABM)。
- 顧客の Apple Business Manager (ABM) へのユーザーの HP Delegation。
- デバイスのローカル管理者ユーザー名およびパスワード。
- 自身が持ち込むデバイス (BYOD) を含むすべての macOS デバイスのユーザー デバイスシリアル .CSV ファイル。

HP の担当:

- ステージングユーザー アカウントと認証情報の提供。
- 顧客の Apple Business Manager ロケーション サーバーのリンク。



注: デバイスを登録するには HP 担当者は .CSV ファイルをインポートする必要があります。

### Step 1 - 顧客の登録

1. 顧客の組織は <https://business.apple.com/> に移動して ABM に登録する必要があります。
2. 登録すると、追加の管理者アカウントは HP Delegation に追加できます。フォームは Welcome Kit で提供され、情報は HP に送信します。
3. フォームの例:

指名する HP 担当者の名前	マネージド Apple ID プレフィックス	役割	電子メールアドレス
Kat Orta	kat.orta1	デバイス マネージャー	<a href="mailto:kat.orta1@hp.com">kat.orta1@hp.com</a>
Don Williams	don.williams1	デバイス マネージャー	<a href="mailto:don.williams1@hp.com">don.williams1@hp.com</a>

### 手順 2 - 顧客 Apple Business Manager を HP に指名

このプロセスでは、**HP** に追加の管理者ログインを作成し、役割を割り当てられるようにします。以下の手順は顧客により実行される必要があります。

# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

1. <https://business.apple.com/> に移動し、ログインします。
2. サイドバーでアカウントをクリックします。
3. ウィンドウ上部で「Add a new account (新規アカウントの追加)」ボタンをクリックします。
4. 氏名、Managed Apple ID、管理者役割と場所、電子メールアドレスを含む必要な情報を入力します。これにより Managed Apple ID が作成され、以前使用してたものでなく、新規アカウントである必要があります。
5. ウィンドウ右下で「Save (保存)」をクリックします。
6. アカウントが表示されます。
7. 「Create Sign-In (サインインの作成)」をクリックします。
8. 「Send as Email (電子メールとして送信)」を選択し、「Continue (続行)」をクリックします。
9. 進行バーが表示されます。
10. セットアップが完了すると「New Sign in Created (新規サインインの作成)」が表示されます。
11. 「Done (完了)」をクリックし、その他の管理者アカウントに同じ操作を繰り返します。
12. 管理者は、顧客の Apple Business Manager アカウントにログインし、デバイスを管理する手順を記載した電子メールを受け取ります。初回ログインの試行時に 2 段階認証を設定する必要があります。

## 手順 3 - Apple Business Manager を使用した iOS または macOS デバイスの登録

**必要条件:** Apple Business Manager はこの手順前に作成する必要があります。

1. ターゲットの iOS または macOS デバイスを起動します。
2. デバイスを WIFI に接続します。
3. デバイスは、HP から指定の Remote Management Device Enrollment Profile (DEP) を受け取り、完了するとデスクトップに続行します。一部の画面は操作が必要な場合があり、構成した会社プロファイルに応じて「NEXT (次へ)」をクリックする必要があります。



# MDM ソフトウェア デプロイメント ガイド

© Copyright 2021 HP Development Company, L.P.こちらに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。HP の製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。HP は、本書の技術的または編集上の誤りや欠落に関して責任を負いません。

Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

2021 年 1 月 20 日